

## 協働パイロット事業 審査結果

1. 審査日時：平成 19 年 6 月 30 日（土）10:00～12:00
2. 会場：静岡市役所 17 階 170 会議室
3. 提案団体：2 団体（自由テーマ部門：2 団体 課題部門：募集なし）

特定非営利活動法人清水ネット

『災害時等に備えたNPOプラスNPO推進事業』

ライフコーディネート静岡

『中小企業で働く人々への出前講座「始めてみよう！団塊世代の生活設計」-セカンドステージを前向きに-』

4. 採用団体（条件付）

特定非営利活動法人清水ネット

『災害時等に備えたNPOプラスNPO推進事業』

ライフコーディネート静岡

『中小企業で働く人々への出前講座「始めてみよう！団塊世代の生活設計」-セカンドステージを前向きに-』

5. 市の選定理由及び講評

特定非営利活動法人清水ネット

テーマとしては非常に重要ですが、単に講演会をやり、意見交換会を行い、報告書を作成するだけでは、採用するまでには至りません。

条件付採用の理由は、生命財産に関わってくるシビアな課題であること、行政の計画も進んでおり、自主防災組織も確立していること、そういった中で、例えば災害ボランティア本部や自主防との関連性を、NPOとしてどうしていくのか等、関係課と協議し、より深めることによる十分な成果を期待するからです。

審査会委員からその他次のような意見がありました。

「ワークショップの形でシミュレーションなど知恵を出してもらおうと面白い」、また、「例えば、私のNPOは、子どもの遊び場づくりという活動をしており、災害時にはあまり関係ないように感じるかもしれませんが、災害時でも子どもの遊び場を被災した子供達に提供するなどどうか」など、視点を変えれば災害時にも活かされるところがあり、NPOが日常やっていることが災害時にどう活かされるのか、考えてみてください。

ライフコーディネート静岡

これも同じく同種の提案が昨年他の団体からあり、そのままの企画提案では、採用するまでには至りません。

条件付採用の理由は、講座の実施そのものではなく、中小企業がこういったニーズ・課題を抱えているのか、まず講座実施前に調査することが大事との認識のもと、質疑応答で、「その点を十分やっていく」との回答だったので、そこを期待したからです。

審査会委員からその他次のような意見がありました。

行政が得意としないのは、汗をかいて各社を訪問して実態調査などの情報収集をすることであり、ライフコーディネート静岡は、アンケートを送付して回答から分析するなど机上の空論をやるのではなく、人材的にも他の方法で情報収集できるのではないのか。そこに十分力を入れていただいて、それを活かして静岡市に提案してください。